



近年国内外でアートと観光／まちづくりの関係性に注目が集まっています。ここでのアートとはアーティストによる制作活動のみならず、広く市民による表現活動も含まれます。特に持続可能なかたちでの観光／まちづくりが注目されている今日の関心から考えるなら、地域の資源を利活用しながら市民が取り組む表現活動を理解することが重要です。本ワークショップでは、秋田県内で廃墟や廃村を撮影・記録し写真展やトークイベントを開催するなどの活動をしておられる神長タクミ氏を招聘し、具体的なご活動内容と芸術文化政策にかかわる今後の課題についてご講演いただきます。

## 秋田の事例から PART II

日時:2025年2月18日(火) 14:30~17:00

場所:立命館大学朱雀キャンパス 中川会館307

講師:神長タクミ氏

(合同会社VKスタジオ代表、全自動さじなげ委員会主宰)



1991年秋田県秋田市生まれ。地元テレビ局に就職後独立し、2017年に廃墟訪問サイト「全自動さじなげ委員会」を開設。分校や過疎集落出身者にインタビューし、その歴史や文化をまとめる活動を行っている傍ら、テレビ番組制作やインターネット配信スタッフとして東北管内で経験を積み重ねた。2023年に法人化し、秋田県内を中心に映像制作やグッズ販売事業を展開している。

【主催／問合せ先】

立命館大学国際言語文化研究所・重点研究プロジェクトA2

『認知と表現をめぐる包括的研究プロジェクト(歴史と表象研究セッション)』